区政を聞く 一般質問(要旨)

詳しい内容は、会議録(2月中旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

自由民主党議員団

大学と公園を核としたまちづくりを進め、新たな葛飾の魅力を

大学誘致

問 大学と本区との双方の発展を前提とした良好な協力関係の構築が必要と考えるが、区の考え方を伺う。

答 大学の提案にできる限り協力することはもちろんのこと、本区の課題や計画、事業についても大学側へ情報提供するなど、信頼関係を強固にして連携を図っていきたい。

問 地域貢献度の高い提案内容に対して、大学と区との双方にメリットが出るように必要な支援を行っていくべきと考えるが区の見解を伺う。

答 地域にとって活用性の高い施設や事業を対象として、区民にメリットがあり、地域貢献度の高い提案内容には、実現に向け支援を行うべきと考えており、具体的な協議を進める。

※他の質問項目　キャンパス拡充の将来構想　など

第2次葛飾区改革パワーアッププラン

問 国の「ワンストップ電子行政サービス」構想への対応は、重点取組項目として積極的に対応していくべきと考えるが、見解を伺う。

答 自宅での電子申請や、来庁された方が区役所内を移動することなく手続きを済ませ、専門的な相談もワンストップで応じる仕組みを構築したい。第2次改革パワーアッププランの重点項目として対応していく。

問 今こそ、区民サービスのあり方と区の役割を抜本的に見直す絶好の機会だと思うが、見解を伺う。

答 行政システムの仕組みそのものを見直していく絶好の機会であり、第2次改革パワーアッププランの大きな課題と認識している。本区の果たすべき役割を見据えた行財政運営に努めてまいりたい。

※他の質問項目　具体的なプラン

都税事務所移転と総合庁舎における区民サービスの向上

問 都税事務所移転による空きスペースを子育て関係事務室、待合スペースなどを充実するために活用すべきと思うが、協議の状況と方向性を伺う。

答 東京都とは引き続き協議を行っているが具体案の提示には至っていない。利便性の高い場所でもあり、利用が可能になった場合には、区民サービスに直結する窓口を優先的に配置すべきと考えている。

※他の質問項目　交渉経緯　など

歴史的財産の活用とまち興し

問 旧金町松戸関所や旧小菅御殿などを活用し観光振興を図るため検討組織を設けるべきと思うが、考えを伺う。

答 教育委員会事務局などとともに、観光資源活用のための検討組織の立上げを検討していく。

問 旧金町松戸関所の復元や旧小菅御殿などの史跡の環境整備を図り、新たなまち興しをすべきではないか。

答 史跡を活用したまち興しは大変有効な方法であり、葛飾の歴史を学び、郷土としての葛飾の再発見も欠かせないと考えている。何らかの形で地域活用が可能かどうか、関係者とともに検討していきたい。

※他の質問項目　歴史的財産の認識

周産期医療の充実と医療機関の連携による円滑な救急医療を安心して出産ができる環境整備

問 区民が安心して子どもを生める環境整備は欠かせないことで、異常出産や合併症は一刻を争う生命の問題である。慈恵医大青戸病院の建て替え計画があるが、区の考えを伺う。

答 同病院は、産婦人科・脳神経外科を初め6つの診療科目で二次・三次救急を中心とした救急医療に対応している。建て替えを機に、区民が一層安心して医療サービスを受けられる環境整備がされるよう、引き続き協議していきたい。

問 今回発生した妊婦の事故を区はどう認識しているか。国や都へ何か働きかけをするか伺いたい。

赤ちゃんとおかあさん

答 少子化対策を進める上で、基本となるセーフティネットの構築は欠かせない。周産期医療の充実について、特別区長会及び特別区保健所長会の場を通じて要望していきたい。

※他の質問項目　救急搬送の受け入れ

特定健康診査・特定保健指導

問 特定保健指導の現在の利用状況を踏まえて、今後、利用促進にどのような対策を考えているか。

答 保健指導の対象者に利用を勧奨する通知を個別に送る。また、アンケート調査を行い次年度に向けてよりよい実施体制を検討していく。

問 生活習慣病対策に限定せず、さまざまな疾病に対応した健診事業が重要と考えるが、特定健診の今後のあり方を伺う。

答 国の定める検査項目だけでなく、区独自の項目を加えて実施している。今後も生活習慣病予防だけでなく、疾病の早期発見・早期治療に努めていく。

※他の質問項目　健診結果の電子化

自由民主党区民会議

区民と創る元気なかつしか・新宿六丁目地区のまちづくり

新宿六丁目三菱製紙工場跡地活用と大学誘致

問 大学誘致を新宿六丁目周辺地域のまちづくりや産業、教育などの区の施策に総合的・効果的に結びつけ、実現させてくことが重要である。そのために、今後、その取り組みをどのように進めていくのか、区の考え方を伺う。

答 区大学誘致本部会の中で、大学側からの意見や要望、区議会、区民の意見や要望を踏まえた検討を行い、提案の効果を最大限引き出し、大学誘致のメリットが区民に還元できるように取り組んでいきたい。

問 大学誘致の地域説明会において、大学の附属施設として、区民からの要望が高かった医療施設については、誘致を積極的に検討すべきと思うが、区の見解を伺いたい。

答 医療施設の誘致の必要性など、本区の医療のあり方について、東京都や葛飾区医師会などと十分に協議した上で医療に関する区民への意向調査など区民ニーズを把握しながら、検討していきたい。

※他の質問項目　大学と隣接する公園

バランスの取れた自治体経営と子育てにやさしい環境づくり

第2次改革パワーアッププラン

問 自治体の経営基盤の強化には、職員の旧態依然とした仕事の進め方や意識を見直し、社会情勢の変化や新たな課題に柔軟に対応できる職員の育成や職場づくりを早急に進めるべきと考えるがどうか。

答 このプランでは、職員の意識改革と生き生きと働ける職場づくりという視点を重要な柱の一つとし、採用、研修、人事考課制度の積極的な活用、メンタルヘルス対策の強化などを一貫した体制で組織的にサポートし、新たな改革に積極果敢にチャレンジする気概や職場風土を醸成していきたいと考えている。

※他の質問項目　策定の基本的な考え方　など

子育て

問 ショートステイ、一時保育などの在宅サービスを充実させ、7つの地域それぞれにおいて、同様のサービスを展開し、区民ニーズに応じてさまざまな子育て支援施策を選択できるようにすべきと思うがどうか。

答 平成20年10月現在、一時保育事業は区内の地域バランスを考え、10カ所で実施し、来年度は亀有に1カ所を設置する予定である。ショートステイ・トワイライトステイ事業は、青戸四丁目において、19年1月に事業を開始し、利用者数は徐々に増加している。今後も、区民ニーズに応えたサービスを地域バランスに配慮しながら、的確に提供していく。また、今年度は小学生までの幼児・児童を持つ保護者などを対象に、子育て支援施策需要調査を行い、来年度に策定する後期「子育て支援行動計画」の基礎資料としていきたい。

子育てサポーターと子どもたち

※他の質問項目　区民ニーズ調査の実施　など

後期高齢者医療制度

問 後期高齢者医療制度での区民の負担感解消策を国任せにするのではなく、区も広域連合の一員として、制度に対するしっかりとした考えを主張していくべきと思うがどうか。

答 地域の声をよく聞き、サービス内容や医療費負担などについて、葛飾という地域にもっとも適した医療保険制度のあり方を念頭に置いて、適宜必要な意見・提言を国や東京都広域連合に行っていきたい。

※他の質問項目　葛飾らしい施策の展開

日本共産党葛飾区議会議員団

国際的金融危機から区民のくらしと営業をまもれ

中小企業を応援する対策

問 他区区では無利子の融資制度に踏み出しているが、本区でも実施すべきと思うがどうか。

答 セーフティネット5号認定者対象の緊急資金融資は、他区の融資制度と比較して、対象となる事業の範囲も広く、信用保証料も区で負担している。事業者にとって融資制度として有効に作用していると認識している。

※他の質問項目　共通商品券・燃料代補助　など

暮らしを応援する対策

問 学校給食費を値上げすれば、障害者や児童の各施設も一斉値上げをする口実を与えてしまうのではないか。

答 障害者施設や児童施設は、各施設で運営基準が異なり、給食費の改定とは直接関係がないと考えている。

※他の質問項目　低所得者に対する介護保険料の減免制度　など

慈恵医大青戸病院のがん放射線治療の存続

問 ガン治療も周産期医療も都心中心で東部地域は遅らされている。本区における唯一の放射線治療がなくなろうとしていることについてどう認識しているか。

答 継続を求める陳情や議会要望などが多いことと、区民のがん死亡率が高い現状を踏まえ、存続を慈恵大学に要望したところである。

※他の質問項目　慈恵大学の翻意を求める働きかけ

大学誘致

問 東京理科大学の提案内容ではどういう建物が建ち、どのような設備によって何が区民に還元されるのか。53億円の施設整備費補助が示されたが、その根拠を明確にすべきと思うがどうか。

答 大学からさまざまな地域貢献策の実現に必要となる施設整備に伴う補助額が提示された。大学誘致選定委員会と大学誘致本部会において、地域貢献の効果と支援内容の比較や経済効果を勘案して妥当性を審議した結果、適切な支援額と評価された。

※他の質問項目　議会への説明日程や区の計画決定期日の変更　など

区政を聞く 一般質問(要旨)　詳しい内容は、会議録(2月中旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

水元公園

問 都内最大の都市公園であり、水郷豊かな自然公園でもある水元公園の管理は、専門性が問われるので、都に、一層の職員配置を求めていくべきである。同時に「かわせみの里」には、区が委託した常駐の専門職員がいる。この専門職員を増やし、管理事務所と連携し、水元公園全体の管理をしていくべきと思うがどうか。

水元公園

答 水元公園は、現在、86ヘクタールを開園し、その施設も多岐にわたり、さまざまな専門家が管理運営に係わっている。今後とも、質の高い、効率的な管理運営には、民間の専門性を活用していくべきものと考えている。

※他の質問項目　東金町八丁目の連動公園と既存の公園との一体的整備　など

民主党葛飾

東京理科大学の進出コンセプトと定額給付金の対応を

新宿六丁目地区への大学誘致

問 東京理科大学の進出コンセプトをどのように認識しているか。

答 同大学の進出コンセプトは、大学と公園とが一体となった公共性の高い学園パーク型キャンパスの整備と地域の一員として区や区民との良好なパートナーシップの構築である。このように大学と公園を核とした新たな魅力を創出し、あらゆる世代の区民が元気で生き生きと暮らせる葛飾を築くという大学誘致の考え方と方向性が一致すると認識している。

新宿六丁目地区

問 区の基本計画の推進に当たり、東京理科大学の持つ機能や特色をどのように引き出して連携していくのか伺いたい。

答 同大学から、理工系大学の特色を生かした多くの地域貢献策が提案されており、さまざまな形で区民の生活や環境を向上させ、基本計画及び実施計画の実現に貢献できると考える。今後、提案以外にも大学の特色を生かした連携や区民サービス向上に直結する連携など新たな地域貢献策についても引き出していきたい。

※他の質問項目　順天堂大学の辞退の経緯　など

定額給付金

問 定額給付金について、区長の率直な感想を伺いたい。

答 国の施策であり、国として責任を持って制度内容、実施方法の詳細を明確にすべきであり、なぜ市区町村の事業としたのかなどについて説明責任を果たしてほしいと考える。

※他の質問項目　定額給付金の所得制限　など

いじめ問題とインターネット教育

問 ネットいじめの現状を把握、認識しているのか。その対策としてどのようなことを行っているのか。

答 ネットいじめの現状は、文部科学省の問題行動調査に現れていないものがかなりあると推察している。対応として、情報モラル教育を推進し、教師、児童・生徒、保護者が協力していじめ防止への対策を進める。具体的には、教員への情報モラル教育に関する研修の充実、子どもたちの情報モラルの育成、保護者への講習会の開催など、ネットいじめの防止に取り組む。

※他の質問項目　区におけるいじめの実態と取り組み、今後の方針　など

京成本線の鉄道立体化事業推進と京成高砂駅周辺のまちづくり

問 高砂地区開発協議会が発表した高砂駅周辺まちづくり基本構想案を本区としてどのように捉えているのか。

答 協議会は、基本構想案を地域住民の共通理解となるように努めるほか、今後まちづくり基本計画案の策定に向けてまちづくりの熟度を高めていくと聞く。区も地域の提案を十分に尊重しながら、関係機関とも調整を図って、計画案を作成していく。

※他の質問項目　都営高砂団地の建て替え　など

葛飾区議会公明党

大学誘致・新型インフルエンザ対策

大学誘致

問 大学と公園を核とした街づくりを進めていくためには、大学からの提案内容以外にも、今後の事業連携や都市基盤整備において必要な支援が出てくると思うが、区としてどのような考えで取り組んでいくのか。

答 今後の協議の中で、大学から本区にとって有益性が高い提案やそれに伴う支援の要望があった場合、提案事業の必要性や実施した場合の効果、支援の妥当性を十分に検討し、区議会の意見などを伺いながら積極的に検討していきたい。

問 東京理科大学の特色である科学技術を区内の中小企業に生かしていくために、どのような取り組みが考えられるのか。

答 同大学では従来から企業研究者への技術指導を行っており、大学が区内に立地することで身近な区内企業での活用が考えられる。また、大学から講師を招いてのセミナー開催や中小企業に勤める技術者の夜間学部への就学あっせんなど、さまざまな連携の可能性も考えられる。

※他の質問項目　組織整備　など

区の新型インフルエンザ対策

問 医師会、薬剤師会、病院などの医療機関、消防、警察などの関係機関と連携をどのように図っていくのか。今年度、流行の兆しが見えた場合、準備はできているのか。最低限、どのような準備が必要なのか。

答 医師会とは担当者レベルで検討しており、発生時の医療体制を東京都とも連携し整備していく。また今後、警察、消防とも、新型インフルエンザ対策のための会議体の準備を考えている。流行への効果的な対応として、医療体制の整備や感染防御用品の備蓄などを着実に進めていく。

※他の質問項目　区の対策準備　など

堀切・小菅まちづくり　高齢者事業・メンタルケア対策

介護保険ならびに高齢者事業

問 地域包括支援センター奥戸では、地区センターを借りて出前相談事業を行っている。第4期介護保険事業計画では、他の地域包括支援センターでも同事業を実施していくのか。

答 同事業は、今年度よりモデル事業として取り組んでいる。次期計画でもセンターの機能強化として引き続き拡大、実施していきたい。

地域包括支援センター奥戸

※他の質問項目　介護保険料　など

小菅一丁目地区のまちづくり

問 安全・安心な住みよいまちを実現するためにも、水戸橋の架け替え工事の早期完成を待ち望んでいる。地域の方々からもスケジュールをできる限り短縮するよう要望がでていると聞いているが、検討状況を伺う。

答 東京都の現時点での見込みでは、当初予定より6カ月程度工期を短縮し、平成24年10月頃に新橋を供用開始できる予定と聞いている。区としても都に協力し、水戸橋の一刻も早い完成につなげたい。

※他の質問項目　水門グラブの存続　など

水戸橋から平和橋通りに抜ける道路の安全対策

問 水戸橋から平和橋通りに抜ける都道を、少しでも安全なバリアフリーの道路として、整備していくには、どのような対策が考えられるのか。

答 例として、一方通行化があるが、影響範囲が大きく実現は難しいと考える。事例を踏まえ、可能な対策をまとめ、東京都に要請するとともに、少しでも安全対策が実施できるよう、都と連携し検討していきたい。

※他の質問項目　道路の現状

堀切地区のまちづくり

問 まちづくり検討協議会やまちづくり勉強会の活動状況と提案された検討事項、今後の区としての取り組みについて見解を伺う。

答 協議会や勉強会では、地域住民の関心が高かった橋梁・防災・地域活性化を検討しており、来年度、堀切地区まちづくりの提案を目指している。橋梁架け替え事業を契機に地域住民がまちづくりに協力してもらえるよう、事業着手予定年度の平成25年度を目途に、密集事業や地区計画などの導入を検討していきたい。

※他の質問項目　京成本線荒川橋梁架け替え事業　など

第2次葛飾区改革パワーアッププランとワンストップサービスとの関連

問 本区の総合窓口構築に係る進捗状況と今後のスケジュールを伺う。

答 住民票などの届出・証明ワークフローシステムは、概要設計業者を選定し、概要設計書を作成した。平成21年4月にシステム構築を開始し、10月の運用開始を目指し準備している。福祉総合案内システムは、今年度中に概要設計を完了し、21年度にシステム構築業者を選定し、22年4月から試験運用の開始予定である。

※他の質問項目　区民への影響

メンタルヘルス対策

問 精神障害に対する相談事業は、保健師とともに専門職を登用し、相談、助言、必要な情報の提供など個々のニーズにあった、トータル的な支援を推進すべきと思うが、区の見解を伺う。

答 福祉サービスの提供や支援については、今までのように保健師だけでなく、地域活動支援センターのような地域の社会資源を充実させ、医療機関から地域へとつながったトータルな支援体制を推進していきたい。

※他の質問項目　自殺対策　など